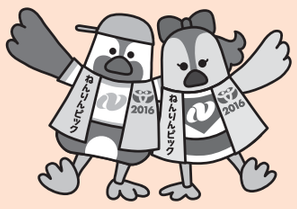


第29回全国健康福祉祭ながさき大会

ねんりんピック長崎2016 平成28年10月15日(土)～18日(火)

長崎で ひらけ長寿の 夢・みらい

審査した案件と結果

知事提出の議案

・予 算	2件(可決)	・条 例	5件(可決)
・事 件	5件(可決)	・人 事	1件(同意)
・認 定	3件(予算決算委員会に付託)		

議員等提出の案件

・議員派遣	4件(可決)	・意見書	6件(可決) 2件(否決)

可決された意見書

◎地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書
◎私学助成の充実強化等に関する意見書
◎平成２７年度国補正予算の編成並びに早期成立に関する意見書
◎農業生産力強化のための農業農村整備事業予算確保を求める意見書
◎ＩＣＴ利活用による地域活性化とふるさとテレワークの推進を求める意見書
◎原爆被爆地域の拡大に関する意見書

ながさき 県議会だより

9月定例会

常任委員会

◆総務委員会　委員長／山本 啓介

【質問】長崎県総合計画(仮称)素案について、計画の実現に向けた推進力をどうしていくのかが大事だと思うが、実施に向けての財政上の措置をどう考えているのか。
【答弁】財源の確保については、計画の策定と並行して財政当局とも協議し、計画の着実な推進に向けて、できるだけ上限を緩和するような措置を要請している。財政当局としては、総合計画の推進枠や総合戦略との関係性、また国の交付金の活用も考えながら、検討が進められているところであり、総合戦略も含めて、計画を推進していくという視点は、予算編成の際に反映されていくものと考えている。
【主な論議事項】佐世保市の中核市指定に関する同意について／特殊詐欺の被害防止対策について／ジンエアーの長崎～ソウル線の運休について　等

◆文教厚生委員会　委員長／松本 洋介

【質問】県立大学に４年制大学で日本初の情報セキュリティ学科を設置するに当たり、講師陣は確保できているのか。また、現状として、県内企業は、情報セキュリティ人材を求めているのか。
【答弁】情報処理推進機構や著名な大学大学院などから、専門家６名を教員として採用する。県立大学シーボルト校に事務局があるサイバーセキュリティー研究会には、セキュリティ人材を求める企業も参加しており、一定の需要はあると認識している。
【主な論議事項】身体障害者福祉の充実に関する要望書について／長崎県総合計画(仮称)素案について／損害賠償請求事件について／18歳選挙権引き下げに伴う学校現場の対応について／長崎県教育大綱について／全国がん登録について　等

◆環境生活委員会　委員長／西川 克己

【質問】食中毒発生状況は、昨年と比較してどうか。また、来年度開催される『ねんりんピック』での発生防止の具体的取組を行うべきではないか。
【答弁】昨年１年間の発生は７件77名。今年は現在までに９件100名を超え、昨年に比べると増加しているが、平成24年は９件153名、25年は13件293名であり、今年が、特に増加している状況ではない。今年度から、旅館、ホテル、弁当調製施設等『ねんりんピック』関連施設について、重点的に監視指導することとしている。
【主な論議事項】交通安全確保に向けた通学路等の整備について／汚水処理対策について／ＥＳＣＯ(エスコ)事業の導入について／国勢調査の実施について／暮らしやすさ指標について　等

◆農水経済委員会　委員長／前田 哲也

【質問】次期ながさき農林業・農山村活性化計画(仮称)について、中山間地域をはじめとする農家数の減少など、農林業を取り巻く環境は依然厳しいなか、農業所得の向上等、次期計画において、どのように取り組んでいくのか。
【答弁】平成25年の農林業産出額1505億円を、平成32年度には1650億円に増加させる目標を掲げ、個別の品目ごとに農業産出額の増大と低コスト化を図る計画をたて、それを実行することで、農林業・農山村全体の所得向上を図っていく。
【主な論議事項】水産物の輸出について／政府関係機関の地方移転について／農地の集積について／長崎県産業人材育成産学官コンソーシアムについて／商店街・小規模事業者の支援について　等

◆予算決算委員会　委員長／徳永 達也

【質問】親元で生活することの豊かさなど、長崎県で就職することの魅力を、教育委員会等関係機関と連携し県内の生徒・学生に伝えていって欲しい。
　また、「働くなら『長崎！』発信・体験事業費」は、来年度以降どのように取り組んでいくのか。
【答弁】インターネットによる県内企業の求人情報発信等、本事業の核となる部分については、継続して取り組んでいきたいと考えている。
【主な論議事項】観光振興について／ながさき『しまねこ』プロジェクトについて／小さな楽園プロジェクトについて／長崎県スポーツコミッション設置運営事業について／大型自動車第二種運転免許取得資金貸与事業について／病床転換助成事業費について／平成27年度９月補正予算に於ける公共事業費について　等

平成27年9月定例会にて、16億67万1千円の一般会計補正予算等を可決

平成27年９月定例会は、９月８日から10月６日まで開かれました。

定例会の本会議初日は、「平成27年度長崎県一般会計補正予算(第２号)」など13件の議案が上程され、中村知事が県政の重要事項について報告し、当面する諸課題について所信を述べるとともに、提出議案などについて提案理由の説明を行いました。

一般質問では、12名の議員が登壇し、長崎県総合計画、地方創生に向けた取組、高齢者対策、人口減少対策、世界遺産登録の推進、長崎市公会堂の保存、観光振興、道路行政、航路・航空路関係、県の財政についてなど、さまざまな事項について活発な論議が交わされました。

補正予算については、地域住民生活等緊急支援のための交付金への対応、国庫補助事業の内示等に伴う事業費の追加、その他緊急を要する経費について編成され、一般会計で16億67万１千円、企業会計で２２５３万９千円の増額補正となりました。

本定例会では、「長崎県個人情報保護条例の一部を改正する条例」など17件の議案を原案のとおり可決、同意し、「平成26年度長崎県一般会計決算及び各特別会計決算の認定について」など３件の議案について、予算決算委員会に付託しました。

また、「地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書」、被爆体験者の実態に即した、実効性のある支援事業の一層の充実を求める「原爆被爆地域の拡大に関する意見書」など、６件の意見書を可決しました。

一般質問

本県の低炭素社会づくりについて

久野 哲〈佐世保市・北松浦郡／改革21〉

【質問】県の低炭素社会に向けた取組、目標は計画どおりに進んでいるのか。
【答弁】県では、県内における温室効果ガスの排出抑制を図るため、地球温暖化対策実行計画を策定し、県内で排出される温室効果ガスを平成32年度に、平成２年度比でマイナス10％の８３７万トンとする目標を立て、節電、省エネ意識の浸透やエコドライブなどの取組を進めている。そのため、二酸化炭素の排出が大きい事業者対策や運輸部門対策を進めている。

長崎市公会堂の保存について

野本 三雄〈長崎市／自由民主党・活正の会〉

【質問】長崎市は、現在の長崎市公会堂を解体し、跡地に市庁舎を建設したいと考えている。この公会堂を解体することは、歴史的、文化的に大変な損失である。長崎市が保存しないのであれば、県が歴史的、文化的な価値のある建物として保存していく考えはないか。
【答弁】長崎市公会堂については、既に所有者である長崎市が解体の方針を決定し、跡地利活用の計画を進めている。県が保存していくことは、制度的にも難しい。

農村整備事業に係る国の平成28年度予算の動向と予算確保への取組について

徳永 達也〈雲仙市／自由民主党・活正の会〉

【質問】農村整備事業に係る平成28年度予算獲得に向けた県の取り組みは。
【答弁】平成28年度の国の概算要求額は、予算が大幅に削減される前の平成21年度と比較すると、約８割に留まっている。そのため、予算獲得に向けた政府施策要望においても重点項目としており、関係団体と連携し国等への要望活動を行っている。引き続き、本県への重点的な予算配分が図られるよう、あらゆる機会を捉えて国に強く働きかけていきたい。

県内人口減少への歯止め策について

下条ふみまさ〈長崎市／自由民主党・活正の会〉

【質問】魅力ある観光地をつくるということは、観光に魅力を持たせるまちづくりをするということ。このことについて、知事の所見は。
【答弁】観光振興の基本は、ソフト・ハード両面にわたる観光まちづくりが大切である。
　県内でも街路樹の整備や水辺空間の創造、電線地中化など、様々な取組が行われているが、地域の特色を活かした取組が大切であり、引き続き、市町と連携を深めながら、力を注いでいきたい。

被爆者援護に関する県の姿勢について

坂本 浩〈長崎市／改革２１〉

【質問】被爆地域の是正拡大を長崎市と連携して取り組む考えはないか。また、被爆二世対策に関する国への働きかけや県独自の対策についての認識をお尋ねしたい。
【答弁】被爆地域の拡大は、被爆体験者支援事業の経過から理解が得られにくい面があり、科学的、合理的根拠が必要であることを踏まえて進めていく必要がある。また、被爆二世対策については、健康影響調査の促進や健康診断事業の充実を引き続き国に要望していきたい。

道路交通網の整備について

中島 浩介〈南島原市／自由民主党・活正の会〉

【質問】島原半島で大雨被害のあった危険箇所周辺を再調査し、来年度ぐらいにはその対応をされるということか。
　早急な工事の対策をお願いしたい。
【答弁】災害を受けた国道２５１号の雲仙市小浜町木指から南島原市加津佐町権田、約15キロメートルの区間で、改めて航空写真や現地踏査による調査を行い、危険箇所があったら、来年度以降、随時対策をとっていきたい。

長崎の教会群とキリスト教関連遺産について

西川 克己〈平戸市／自由民主党・活正の会〉

【質問】10月にパリ、11月にローマにおいて「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」をＰＲするパネル展を開くと聞いている。どのような計画か。
【答弁】各国のユネスコ大使に教会群に対する理解を深めてもらうには、関連する展示物等を実際に見てもらうことが効果的であり、そういう機会を設けていきたい。
　また、現地に直接出向き、関係者と話をする機会は貴重であり、必要な場合には積極的に対応しなければならないと考えている。

土曜授業への速やかな取組について

橋村 松太郎〈諫早市／自由民主党・活正の会〉

【質問】学校週５日制によって本県の子どもたちの学力が低下しており、県教委は、土曜授業を積極的に推進すべきである。市町教委に対してどのような対応を行っているのか。また、土曜授業の取組状況はどうか。
【答弁】土曜授業が４市27校で、学校外での土曜学習が18市町１９３教室で実施されている。
　土曜授業の成果と課題を踏まえ、市町教委に対し、土曜日の教育活動の充実を検討するよう指導していきたい。

長崎港一帯の活用について

浅田 眞澄美〈長崎市／創爽会〉

【質問】港のブランド化という意味において長崎らしさを築いていくことが、観光にとって必要であり、魅力をもっと増やすために、ハーバー等の検討も考えてみる余地はないか。
【答弁】ハーバーを整備するということは、修景を進める上で非常に魅力のある提案であるが、港の港湾機能をどう配置するかという課題も片方残っており、そういった課題も含めて総合的に調整していく必要があるものと考えている。

地域経済構造分析について

友田 吉泰〈松浦市／前進・邁進の会〉

【質問】財政状況が厳しい中で、真に必要かつ効果的な施策を講じていく必要があり、各地域すなわち振興局ごとの経済圏での地域経済構造分析が必要ではないか。分析の実施に当たって、岡山大学の中村良平先生を招聘し、話を聞いてはどうか。
【答弁】各市町の環境は、特徴も異なり、地域の特性に応じた分析が必要である。各地域別の最良の政策に加え、全体を網羅した戦略づくりも必要であり、議員の提案を踏まえ、具体的に検討する。

五島沖に眠る巨大潜水艦(伊402)について

山田 博司〈五島市／改革２１・五島〉

【質問】海上保安庁によると、五島列島沖の海底で、昭和21年に米軍が海没処分した伊４０２潜水艦等24隻が計測されている。この伊４０２は、佐世保の海軍工廠で竣工されたものであるため、国に引揚げを要望し、県が記念碑を建設して平和教育に取り組んでもらいたい。
【答弁】引揚げの課題、引揚げられた場合の平和教育の活用方法を検討してみる必要がある。県として取り組む必要があれば、国に対して引揚げ等を要請していきたい。

長崎空港の２４時間空港化の実現に向けて

小林 克敏〈大村市／県民主役の会〉

【質問】今回の地方創生戦略の中で、長崎空港の24時間化を目指すことが明らかになったが、ぜひ実現してもらいたい。戦略をどういう形で行っていくのか。
【答弁】優位性のある長崎空港を最大限に活用して、地域の活性化に結びつけていくことは重要な視点である。
　今後、経済界、航空業界、観光業界、交通運輸業界の代表で構成する24時間化のための委員会を早早に立ち上げ、具体的な形で検討し、実現を目指していきたい。

特別委員会活動状況

離島・半島地域振興特別委員会

　本委員会では、離島・半島地域振興対策、国境離島新法(仮称)制定対策、人口減少対策、航路・航空路運賃対策について審査しています。
　８月には、新上五島町を訪問し、江上町長、中山議長、地元関係者等から、離島が抱える問題・特色等、新上五島町の現状について説明を受け、意見交換を行いました。
　また、上五島病院では、離島における医療、医療人材確保について現状報告を受け、課題等について質疑を行いました。
　その他、(株)やがための「塩」、上五島水産の「イカ一夜干」の作業場を視察し、地域資源を活かした離島・半島振興の取り組みについて説明を受けました。

経済・雇用対策特別委員会

　本委員会では、県民所得の向上対策、地方創生の取り組み、若年者・高齢者・女性雇用の創出、企業誘致対策、地場産業の振興対策について審査しています。
　８月には長与町、長崎市、雲仙市、島原市で現地調査を行いました。
　長与町では、長崎高等技術専門校で、職業訓練や人材育成の取り組みについて、雲仙市では、(一社)小浜温泉エネルギー、島原市では、がまだす椎茸生産組合などを訪問し、地域経済の活性化や、所得向上に向けた農産物生産の取り組みなどについて説明を受けた後、意見交換や施設の見学を行いました。

観光振興等対策特別委員会

　本委員会では、観光振興対策、世界遺産対策、日本遺産対策、県下交通網整備、アジア国際戦略について審査しています。
　８月には佐世保市、波佐見町で、現地調査を行いました。
　佐世保市役所では、させぼ観光ＰＲの強化・将来をにらんだ外国人観光客誘客対策・「海風の国」佐世保・小値賀観光圏の取り組みなどについての調査を行い、波佐見町役場及び波佐見町観光協会ほか観光関係団体から「やきものや自然を活かした観光に関する取り組み」について調査を行いました。

お知らせ

インターネット中継

インターネットを利用した県議会中継(生中継・録画中継)を実施しています。

ホームページ・会議録

長崎県議会　検索　会議録全文を掲載しています。

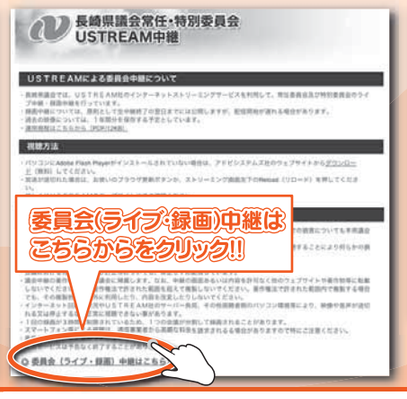
【掲載内容】
○平成８年２月～27年６月定例会の本会議・常任委員会
○平成24年４月～27年６月分の特別委員会

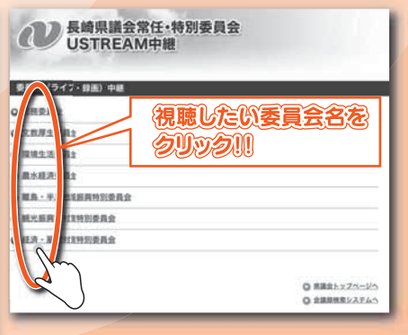
◎本会議・委員会は、原則としていつでもだれでも傍聴できます。
◎次回の定例会は、11月25日に始まる予定です。

注目情報!! ～委員会中継の視聴方法～

インターネット動画サイト・ユーストリームにおいて、委員会中継(生・録画)を配信しています！

1. もっと知りたい 長崎県議会 Nagasaki Prefectural assembly　長崎県議会　検索
2. 中ほどにある ユーストリーム中継のバナーをクリックする
3. 視聴方法や注意事項をよく読んで、最後にある下記表示から入る ○委員会(ライブ・録画)中継はこちらから
4. 視聴したい委員会名をクリックする





提供／長崎県議会　　ご意見・お問い合わせなど／議会事務局(政務調査課)TEL095(894)3634